

モデルコース③ 参詣が生んだ賑わいと文化

ゆるやかな時の流れを感じる・赤沢宿コース

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている赤沢地区を散策します。中世から身延山と七面山を結ぶ参道の宿場として栄えた痕跡を見て取れます。石畳が敷かれた集落を散歩しながら、七面山をはじめとする山々を眺望します。建築は、座敷の2辺を囲む周り土間が特徴で、現在は早川町が運営する清水屋で休憩しながら見学できます。講中宿の江戸屋や大阪屋には講中札(マネギ板)が並びます。集落の中央には敬慎院の鍵を管理してきた妙福寺があります。

コース概要
SG 赤沢宿駐車場
 距離：—km
 所要時間：約30分～1時間程度の散策
 ※石畳と舗装路



赤沢宿

講中宿として栄え、明治初期には集落内34戸のうち9戸が旅籠屋を営み、強力や荷物を運ぶ荷背負い業も増えたとの記録が残ります。昭和30年代以降、道路事情の改善で利用が急減しました。往時の風情を残す建造物や街並みが残されていることから国選定重要伝統的建造物群保存地区に登録されています。



妙福寺

1297(永仁5)年、六老僧の一人・日朗上人と南部実長公が七面山参詣の際に宿泊し住職に法華經の教えを説いたところ、住職は法華經に改宗し、後に妙福寺に改められました。17世日照上人の時代に、代々管理していた七面山を久遠寺に寄進し、これ以来、敬慎院七面大明神房司の鍵は妙福寺で管理しています。



喜久屋

妙福寺の隣にあり、無人休憩所として開放されています。空き家を町が譲り受けて再利用したもので、建物内は自由に見学できます。1階の居間には囲炉裏や箆筒、昔の看板などが残されており、昔の暮らしがうかがえます。また2階からは赤沢の集落や七面山が見渡せます。



清水屋

空き家になっていた、かつての旅籠屋の建物を町が譲り受けて改装し、2013年から休憩所を兼ねた観光案内所として営業しています。建物内の見学は無料で、休憩スペースも無料で利用できます。赤沢地区の特産品、工芸品などのお土産も販売しているほか、ソフトドリンクやアイスクリーム、甘酒、豆餅等が楽しめます。

モデルコース④ 参詣が生んだ賑わいと文化

身延参詣が生んだ賑わいを感じる・門内商店街と久遠寺界限コース

身延山総門から、門内商店街を通り、三門、御草庵跡を通して、久遠寺境内や宝物館、日朝堂と辿ります。門内商店街の活気、立ち並ぶ店、ここだけの仏具や仏壇、名物であり精進料理でもある「みのぶまんじゅう」の湯気と匂いを感じながら、身延山の主要な寺社、坊を巡り、日蓮聖人が弟子たちに修行を施した御草庵跡を訪ね歩きます。

コース概要
SG 仲町駐車場
 距離：4 km
 所要時間：約1時間
 ※舗装路



御草庵跡

日蓮聖人が身延山に入門した1274(文永11)年5月17日、その1ヵ月後の6月17日に草庵が完成し、1282(弘安5)年9月8日までの9年間でここで過ごしました。1281(弘安4)年にはこの場所に御堂が造られ、日蓮聖人自らが「身延山 妙法華院 久遠寺」と命名しています。日蓮聖人はこの草庵で法華經の読誦や弟子や信徒の教育を行ないました。



宝物館

久遠寺の本堂地下にある宝物館では、久遠寺が所蔵する宝物や貴重な史料を収蔵し、随時展示を行っています。日蓮宗の総本山とあって、僧侶や信徒から奉納された宝物が多いのも特徴です。常設展示のほか、企画展示も年に数回開催されており、館内では写経も体験できます。



しだれ桜

久遠寺は桜の名所でもあります。境内の祖師堂の前、仏殿の前にそれぞれ樹齢400年を超えるといわれるしだれ桜の大木があります。花の見ごろは3月中下旬から4月上旬。長い枝いっぱい付いた花が風に揺れ、歴史的な境内を彩る様子は幻想的です。



石割稲荷

日蓮聖人が身延山を訪れると、山道を塞ぐ大岩が突然割れ、白髪の老人が出てきて「世の人々を救うため、一日も早く開宗なさいますように」と告げたといわれています。